

受賞者のご紹介 (敬称略)

振興賞 株式会社 エフ・イー

当社は、野菜の選別機や洗浄機を製造し、広く国内外の市場に納品しております。

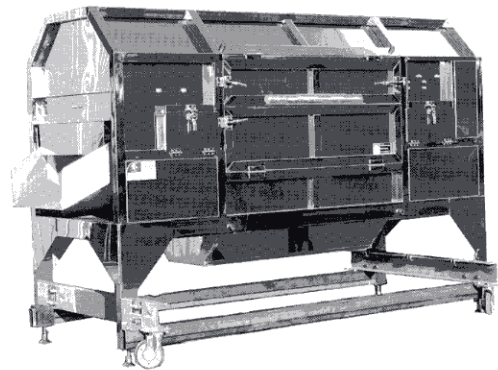
受賞機械は、ジャガイモを始めとした根菜類の形状を維持したまま、皮を剥くというものです。

表皮を薄く剥くため、手作業で剥いたように原料形状を維持します。(厚く剥く事も可能) また、機械による皮剥き作業で、手剥きの様な仕上がりが不可能であったジャガイモのSサイズ以下の原料にも対応可能です。

このことにより、北海道ではジャガイモのSサイズ以下は規格外として扱われていますが、本機で皮を剥くことにより、規格品と同等もしくはそれ以上の市場の付加価値が期待できます。

特徴としては、①不定形、小型の原料も処理できる ②洗浄水を用いず、乾式の作業が可能 ③刃を立てないため磨耗が殆どなく、長期の部品交換が不要 と商品開発時に最も大切な「時代のニーズ」にマッチしたものです。

また、開発にあたっての部材の殆どを地元企業に対して発注しており、地域内連携による地域活性化にも努めております。



開発担当 稲垣 幸治
旭川市工業団地3条2丁目2番27号
TEL 0166-36-4501

奨励賞 有限会社 ミューロン

当社は、地元在住のピアニストのあきらめていた「夢」の実現を支援しようと技術開発をしました。

開発にあたっては、ヤマハ株式会社様のご快諾のもとに旭川医大吉田貴彦教授のコーディネートをはじめ多くの専門家のアドバイスを頂きました。

この開発の取り組みは、「産学官」連携事業の成功例としても、評価されております。

受賞装置は、専用のマウスピースから送られる息を風量センサーで感知し、デジタル信号に変換後、電動シリンダーを制御することによってピアノフットペダルを別々に動かすものです。

下肢障害のピアニストの活動を可能にするものであり、また本開発事業は、他部門への応用も期待できることから、旭川のものづくりの企画力、技術力、連携力を広く全国に知らしめる開発事例となりました。



開発担当 橋本 利彦
旭川市大雪通り1丁目872番地
TEL 0166-29-0113